

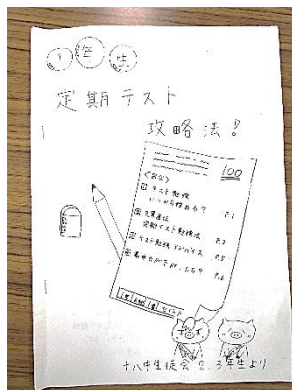


中間テスト一週間前になりました

16日(日)に「近畿地方が梅雨入りしたとみられる」という発表がありました。統計をとり始めてから最も早い梅雨入りだとか。「去年よりも25日早い梅雨入り」と聞くと、一年の中で最もさわやかな季節が大きく減ったようで、損をしたような気分にもなります。

さて、梅雨らしい雨の月曜日となった昨日は、中間テスト一週間前。各教科のテスト範囲や、テストの時間割も「学年便り」等で発表され、いよいよ本格的にテスト勉強に取り組む日々になりました。夜遅くまで勉強する人もいますが、あまり無理をすると体調をくずしたり、授業中についつい睡魔に負けてしまったり…ということにもなりかねません。ぜひ、無理のない学習計画をたててみてくださいね。

先日、生徒会から1年生に「1年生 定期テスト 攻略法!」というミニ冊子が配られました。2、3年生の教室にも1冊ずつ置いています。その冊子には、「十八中生はいつぐらいからテスト勉強を始めているのか?」「各教科どんな勉強をしたらよいのか?」「テスト勉強のアドバイス」「集中力をキープする方法」などが掲載されています。実用的なアドバイスから、「気合いが大事」などの体育会系アドバイス、「低い点から学ぶことも多い。」「人生は冒険!」などの哲学系アドバイスまで、それぞれの経験に基づいた生身のアドバイスが温かいし、面白いです。



参考にして、ぜひ自分に合った勉強法を見つけていってください!

火曜日からは放課後の学習会も始まります。

中庭の「一公桜(いっこうさくら)」は・・・

十八中の中庭に「一公桜」という、まだ若い桜の木があります。この桜の木は2年前の5月20日に亡くなられた、中井一公校長先生の思い出として2020年2月に植樹されたものです。



「十八中は桜の木が少ないですね…」と気にかけておられた中井校長先生の意をくみ、十八中生の声がいつも聞こえる中庭に植えられました。まだ幹や枝は細いですが、今年も3月に可憐な花を咲かせました。中井校長先生が願っておられた「素敵な十八中をつくる」という大きな目標を、一公桜に見守られながら、わたしたちが引き継いでいきましょう。



卒業まで300日?!

3年1組の教室には、卒業までのカウン

トダウンが書かれています。14日(金)時点で「あと300日」…?! 実は卒業式の日、まだ教育委員会から示されておらず、正式にはあと何日かわかりません。でも、今の仲間との中学時代の日々を大切にしたい…という気持ちが伝わってくるようなカウントダウンなので、ぜひ続けてほしいなと思います。ちなみに、昨年度の卒業式は3月16日でした。

十八中生へのメッセージ; 学校評議員会より ②

学校評議員会の方からみなさんへのメッセージの2回目です。今回は「十八中校区 子育てふれあいの会」のOさんのメッセージです。

直接伝え合うコミュニケーションを大切に 十八中校区子育てふれあいの会
Oさん

今、スマホ、インターネットなどに夢中になっている若者が非常に多いということで、思うことを話します。それは、会話が少ないなあ、コミュニケーション力が落ちてきてしまうんじゃないかなあということです。

中学生ではないけれども、若者が喫茶店などに行くと、一緒に来ていながらそれぞれがスマホをいじっていて会話をしていない。極端な例では目の前の相手とのやり取りを、スマホを通じてやっているというような、状況も見たことがあります。生の声で話し合うという場面が少なくなっているなあと感じます。



わたしの小学1年生の孫も、学校からタブレットを与えられています。機械を操作する技術を学ぶのも大事かもしれないけれど、もっと友だちと自分の感じたこと、思ったこと、あるいは希望することなどを、生の声でしゃべって出すということが大事なんじゃないかなと思います。家でわたしと孫がいても、時として話しかけても返事も返ってこないこともあります。見ると、祖母からスマホを借りて、いろいろ見て楽しんでいる最中でした。機械の扱いは小さいころからすごく慣れているけれど、そのことで、少し大げさかもしれませんが、大切な人間関係が少し忘れられているんじゃないかなあという気がします。

それはきっと十八中生の中にもあると思います。どんな些細なことでも生の声でしゃべるコミュニケーションの大切さを、もう一度小中学校で見直してほしいなと思います。もっと直接自分の思いを伝え合い、聴き合うことに力点を置く必要があると思いますね。

